

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 45 回会合 議事録

開催日時： 2024 年 2 月 19 日(月)17:00-18:05

開催場所： オンライン開催

主催： 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者（五十音順・敬称略）

姓	名	所属	姓	名	所属
飯田	陽一	総務省	根岸	秀羽	弁護士法人内田・鮫島法律事務所
今井	正治	京都情報大学院大学	Hung	Wei-Ting	個人参加
片柳	早苗	総務省	Maeno	Joji	個人
加藤	幹之	MK Next	前村	昌紀	JPNIC
河内	淳子	CFIEC	松平	直樹	フリーランス
木村	孝	JAIPA	森口	友里	株式会社インターリンク
Suga	Yuji	Internet Initiative Japan Inc.	山崎	信	JPNIC
立石	聡明	JAIPA			

参加者数： 15 名 司会進行： 加藤 幹之 議事録作成： 山崎 信

資料：

1. [NRI 作業計画](#)

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認

- 日本政府からの報告
- IGF マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)からの報告
- 本チームの今後について

2. 前回議論の振り返り

- 第 44 回会合の概要：[第 44 回議事録](#)

3. 宿題の進捗確認

[IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活性化チーム todo 一覧表](#)を参照のこと

4. 日本政府からの報告 [10 分]

- 総務省データ通信課片柳氏からは特に報告はないとのこと
- 総務省国際戦略局飯田氏より、以下の旨報告された。
 - (2月27日から29日にかけてサウジアラビア・リヤドで開催される) [MAG 会合](#)にオンライン参加予定で、IGF 京都の経験を話す予定
 - [CSTD の WSIS+20 意見募集](#)に関心を持つ方は[コメント](#)いただきたい
 - 政府としては別途インプット予定
 - 皆様は各自コメントいただければ
 - 日本からもいくつかコメントが出るのでは
 - WSIS+20 については、G7 で 23 年議論した。2025 年までのレビューが大事なので、マルチステークホルダーによるインターネットガバナンスの仕組みを守っていこうという議論を行い、[未来のインターネットに関する宣言\(DFI\)](#)とも絡めてについて京都でセッションを開催した。それから派生し、G7 で Point of Contact グループを作り協調して対応することになった。とりあえずは政府間で実施しているが、マルチステークホルダーでやっていくということになってくるので皆さんに紹介しながら一緒にできることがあればと考えている。
 - IGF 2024 のセッション募集が3月15日から4月30日まで掛かる予定
 - [NETmundial+10](#) が4月(29日・30日にブラジル・サンパウロで)開催予定、その[High Level Executive Committee \(HLEC\)](#)メンバーに選ばれ、早速第1回の会合が先週末開催された。
 - ブラジルは今年 G20 の議長国でもあり、マルチステークホルダーでの議論を G20 にも持ち込むべきと言った。
 - オンラインでも参加できると思うので、ぜひ参加を検討いただければ。
 - JPNIC 前村も HLEC メンバーに選ばれた。

5. IGF MAG からの報告 [10 分]

- CFIEC 河内氏より、以下の旨報告された。
 - 2月6日に MAG 会合がオンライン開催された。
 - [2月27~29日開催の対面 MAG 会合](#)のアジェンダについて説明があった
 - IGF2024 のプログラム
 - 通年/セッション間の作業
 - 国別・地域別 IGF(NRI)
 - [グローバルデジタルコンパクト\(GDC\)](#)、[世界情報社会サミット 20 周年\(WSIS+20\)評価プロセス](#)
 - 初日 27 日には[リーダーシップパネル](#)との意見交換会
 - [IGF2024 テーマ募集結果](#)について報告
 - 次回 MAG 会合でおそらくテーマが決まるだろう

- 2月20日に次回オンライン MAG 会合が開催される予定
- MAG の [Strategy WG](#) が WSIS+20 意見提出内容を検討中

6. NRI に関する報告 [5分]

- 山崎より [NRI 作業計画](#)を紹介した。
 - 2月はNRIのプロセスに政府に関与してもらう方法について
 - 3月はNRIの経済的な持続性を確保する方法について議論予定
 - GDC については [2月12日に政府+オブザーバー対象の](#)、13日に全ステークホルダー対象の非公式コンサルテーションが開催された。
 - 次回は2月29日に政府+オブザーバー対象、3月1日に全ステークホルダー対象の非公式コンサルテーションが開催される予定。
 - GDC ゼロドラフトは [4月5日に（政府向けに）出てくる予定](#)。
- 飯田氏より、9月に開催される未来サミットの中で Pact of the Future が採択され、その付属文書のような形で GDC が採択される予定と聞いている旨紹介された。

7. 本チームの今後[30分]

- 加藤氏より以下の通り報告された。
 - 第1回準備委員会を2月8日(木)に開催した。
 - 11名出席
 - 内田鮫島法律事務所の根岸弁護士にお手伝いいただけることになった
 - 定款や必要な文書を作成いただく予定
 - 必要事項についてのリストをいただく予定
 - 第2回準備委員会を2月21日(水)に開催予定
 - 設立予定の一般社団法人の名称案(本日決めるわけではない)
 - 日本インターネットガバナンス協議会 council / conference
 - 日本インターネットガバナンス懇談会／懇話会 dialogue →いい日本語名が思いつけば
 - 候補を投票で選ぶのはどうか、3月頭には決めたい
 - 他にあれば提案いただきたい
 - 登記場所は JPNIC の住所を借りてはどうか
 - JPNIC の内部では法人化することについてどう考えるかといった意見が出ている
 - 7日間コメント期間としたい
 - 定款登録時に発起人の名前が必要：JAIPA, JPNIC, 京都情報大学院大学に検討いただきたい
- 前回第44回会合での内容
 - 加藤氏より、資料3.[日本インターネット・ガバナンス協議会（仮称）たたき台](#)を使って説明された。この内容をこの場で承認していただきたいという訳ではなく、全体的な方向性へ賛同が得られればと思っている。

- 前村) JPNIC内では全体的には大賛成、前向きに考えたい。細部については意見が出ている。
- 加藤) 日本 IGF タスクフォース構成団体には大筋で了承いただいていると理解している
- 立石) JAIPA としては基本的に全面的に協力したい
- 参加者) NPO 法人などではなく一般社団法人という形態を選んだ理由は？
 - まずは後援や寄付などの制約がないよう、主体性を持つために法人化する必要があると考える。
 - 一般財団法人は基金がありそれを運営するもので、（設立しようとしている法人は）それには当てはまらない。
 - 発起人が社員となって一般社団法人となることを想定している
 - 非営利型一般社団法人または一般財団法人となるには細かい要件がありハードルが高い。
 - 参加者が意見や情報交換をしながら意見を合成することになるので、イシューに対して直接アクションを起こすというのとは違うため、NPO 法人（特定非営利活動法人）には当てはまらないのではないか。
- たたき台承認後も、今後弁護士と相談して内容の細部は法的な問題により変更となる可能性があるため、そのための柔軟性は残しておきたいが、基本的な 8 項目は変わらない。
- 次の段階：next step リストもしくは todo リストがほしい、次のボトルネックがどこかなどを考えていく必要がある。まずは活発化チーム内でのコメント募集か。
 - 3 月末に定款を完成させたい
- 総務省は次にどこに関われるか→準備委員会の委員、もしくはオブザーバーとして関わっていただきたい
- 準備委員会は週一程度のペースで進めたい

8. 本日の議論を受けた Todo 確認 [5 分]

- 引き続き法人化について検討する、必要なことがあれば活発化チームに相談する

9. 次回打合せについて [5 分]

- 次回アジェンダ（たたき台）
 - 国内 IGF 活動の今後について
- 次回打合せの開催時期
 - 本日から 4 週間後は 3 月 18 日(月)だが、3 月 11 日(月)としたい。→異議なし

10. その他

- 特になし

以上